

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手

三陸復興

第 120 号

平成 29 年 1 月 15 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

新しい年を迎え、より一層復興を加速させるとともに、魅力あるまちづくりに躍進する岩手県。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

「地域コミュニティ活性化」をテーマに 官民連携の交流会開催

釜石市

平成 28 年 12 月 17 日（土）、「地域コミュニティの活性化」をテーマに、「新しい東北」交流会 in 釜石（主催：「新しい東北」官民連携推進協議会）が、釜石情報交流センター（釜石市大町）で開催されました。本交流会は、被災地自治体や民間企業、大学、NPO など、復興に取り組む多様な主体どうしの情報共有・意見交換を目的とするものです。

交流会では、地域コミュニティの活性化に取り組む専門家によるパネルディスカッションが行われ、復興

・創生期間における地域コミュニティ形成支援の課題について意見を交わし、今後の復興への方向性を考える場となりました。

続いて、被災地をはじめ、全国各地で地域コミュニティ活性化に取り組んでいる 8 団体が最新の事例を発表し、様々な目線から被災地の現状と今後の課題を紹介しました。

山下容弘復興庁岩手復興局長は「東日本大震災の復興ではインフラや住まいの再建が一歩一歩着実に進展してきました。今後は、地域コミュニ

ティの再生などが重要な課題となっており、復興庁としても全力をあげて取り組んでいきます。」と意気込みを語りました。

また、高校生を対象に IT を活用した新たな働き方を学ぶ交流イベントや、親子向けにスマートフォンと連携する絵本を作成するワークショップが行われたほか、地域の記憶を次代に継承していくためのモデルとして、映画「この世界の片隅に」の特別上映会とシンポジウムも開催されました。



パネルディスカッションの様子



高校生を対象とした交流イベントの様子



親子向けワークショップの様子

「いわて復興インデックス報告書（第 19 回）」のデータから

沿岸被災 12 市町村を中心とした本県の復旧、復興の現状やその推移を把握するためのデータを定期的に取りまとめている「いわて復興インデックス報告書」。

今回は、第 19 回（平成 28 年 12 月 5 日発表）結果から、主なデータを紹介します。

詳しくは

安全

まちづくり（面整備）の進捗率（沿岸）：45%
完成区画数：3,493 区画（平成 28 年 10 月 31 日現在）

まちづくり（面整備）事業における宅地供給予定区画数 7,811 区画に対する進捗率は 45%。

暮らし

災害公営住宅の進捗率（全県）：74%
完成戸数：4,237 戸（県整備 2,080 戸、市町村整備 2,157 戸）
（平成 28 年 10 月 31 日現在）

災害公営住宅整備事業における建設予定戸数 5,694 戸（県整備 2,760 戸、市町村整備 2,934 戸）に対する進捗率は 74%。

なりわい（産業）

産地魚市場水揚量（年度累計）：57.7%（3 年平均比）
38,257 トン（平成 28 年 4～9 月）

前年同期間の水揚量の 86.2%。これは、サバ類及びスルメイカ、イサダ等の水揚げが減少していることが主な要因とみられます。

いわて復興応援団（員）大募集中！

知って、買って、食べて、行って応援！



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

登録無料

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

